

「神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略」改訂に係る検討結果について

1 「主な取組み」の追加（再掲）

- 「魅力的な観光地の形成及び観光消費につながるコンテンツづくり」

追加理由

新たな観光の核づくり（城ヶ島・三崎地域、大山地域、大磯地域）をはじめ、各地において地域主体で取り組む魅力づくりを支援し、観光地の魅力向上を推進する。また、地域の特性を生かし、MICE を呼び込むユニークベニューをはじめ、宿泊客を呼び込むナイトタイムエコノミー・早朝型観光向けのコンテンツ、クルーズ客、富裕層をターゲットとした高付加価値の体験型コンテンツなど、神奈川県観光魅力創造協議会等を通じて観光消費につながるコンテンツを発掘・磨き上げる取組みを促進する。

- 「『関係人口』の創出」

追加理由

移住先として本県に魅力を感じつつも、すぐには踏み切れない方々を移住につなげていくためには、地域との関係を少しずつ深め、地域に継続的な関わりを持つ「関係人口」になっていただくことが有効であることから、「関係人口」を意識した取組みを進めていく。

- 「海からしか見ることができない景観を観光コンテンツとした海洋ツーリズムの展開」

追加理由

神奈川の海の周遊性向上を図るとともに、海からしか見られない景観を観光コンテンツとして活用した海からの新たな観光（海洋ツーリズム）を展開するため持続可能なクルージングツアーを造成するほか、海上タクシーの実証実験を実施する。

- 「保育環境の整備」

追加（再掲）理由

神奈川県地方創生推進会議の中で、「『妊娠・出産を支える社会環境の整備』について、現状の KPI では不足しており、KPI の追加について検討する必要がある」とのご指摘を受け、新たな KPI を追加できないか検討を行った。その結果、「保育所等利用待機児童数」を新たに追加することとし、その KPI に関連する「主な取組み」についても追加（再掲）を行う。

2 数値目標の見直し（下方修正）

➤ 観光消費額総額（暦年）

見直し理由

現行の「神奈川県観光振興計画」を策定した2015年度当時は、全国的にも訪日外国人旅行者数や中国人の買い物支出の伸びにより、観光消費額総額が伸びていた時期であり、2018年の観光消費額総額の目標値を1兆5,000億円という高い数値に設定した。しかし、その後、外国人旅行者は増加しているが、一人当たりの消費単価が減少するなど、社会情勢の変化が認められた。

現行の「観光振興計画」の計画期間が2018年度までとなっているため、目標値の検討を行い、2019年に1兆1,500億円とすることを目標とする改定観光振興計画について観光審議会で審議を行っている。

なお、平成30年度第3回定例会で「神奈川県観光振興計画」の改定素案を報告済みであり、平成31年第1回定例会で改定案を報告予定となっている。

3 数値目標・KPI 目標値の見直し（上方修正）

修正理由

「神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略 2017年度評価報告書」において、2017年実績値がすでに2018年及び2019年目標値を達成しているKPIの目標値等について、所管局に上方修正について検討を依頼の上、上方修正を行った。

なお、目標値を「《調整中》」としているKPIについては、所管局の個別計画について平成31年第1回定例会へ報告するため、現在、目標値の上方修正を検討しており、その検討結果を受けて、総合戦略のKPI目標値を上方修正する。

4 KPIの追加（再掲）

➤ 三浦半島魅力最大化プロジェクト「各種イベント参加者数（暦年）」

追加理由

三浦半島地域の振興に向け、三浦半島の自然環境、歴史、文化などの観光資源を生かし、多くの観光客を呼び込む取組みが重要である。そこで、「三浦半島はイタリア半島プロジェクト」の推進によるイベントの実施など、三浦半島地域で開催している各種イベントの参加者数をKPIに設定する。

➤ 神奈川文化プログラム認証件数（累計）

追加理由

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、官民一体となって「オール神奈川」で文化プログラムに取り組むためには、統一したマークを使用して「神奈川の文化プログラム」としてアピールすることが重要である。そこで、神奈川文化プログラム認証により、様々な実施主体が行う県内の文化イベント等について、一体感を持たせ機運醸成を図る。

➤ 保育所等利用待機児童数

追加（再掲）理由

神奈川県地方創生推進会議の中で、「『妊娠・出産を支える社会環境の整備』について、現状の KPI では不足しており、KPI の追加について検討する必要がある。例えば、基本目標 3（1）④『子育てを応援する社会の実現』に設定されている待機児童の KPI を、③『妊娠・出産を支える社会環境の整備』にも記載するなど KPI の同じ項目が、色々な小柱にあってもよいのではないか。」とのご指摘を受け、追加（再掲）について検討し、追加（再掲）した。